

岐阜大学における AIMS-Gifu(Blackboard)利用分析 ～学生・教員の意識差の分析と 学修効果向上に向けた取り組み～

2014年10月4日

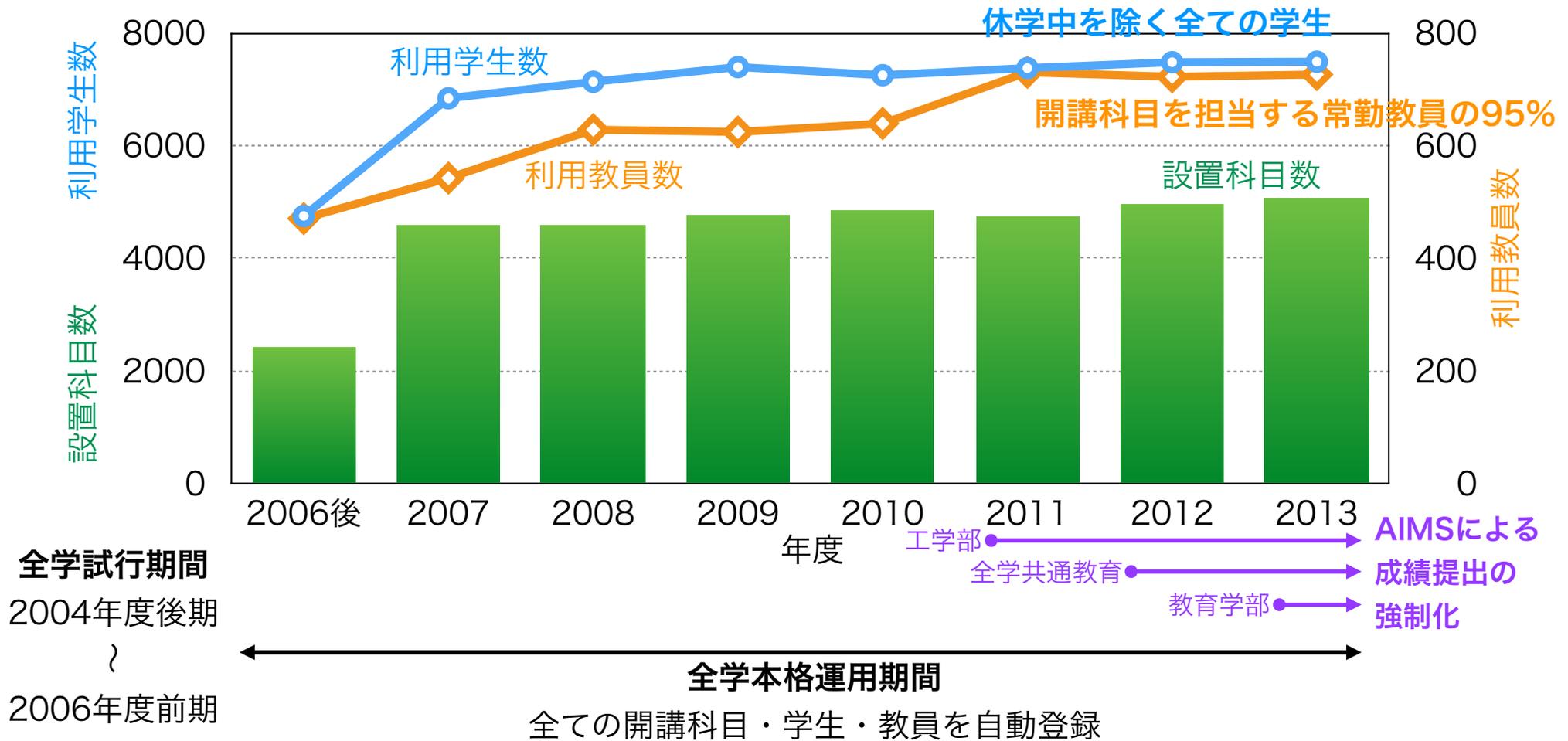
岐阜大学教育推進・学生支援機構学修支援部門

篠田成郎

shinoda@gifu-u.ac.jp

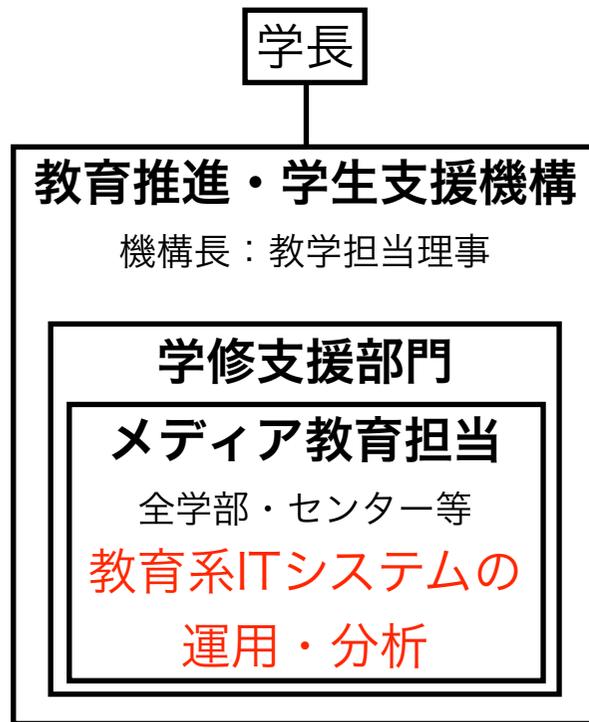
岐阜大学でのBb(AIMS-Gifu)利用の概要

AIMS-Gifu: Academic Instructional Media Service in Gifu University



学生総数 (学部生・大学院生・研究生) :	7,459人
常勤教員総数 (教授・准教授・講師・助教・助手90%, 特任教員・附属学校教諭10%) :	844人
非常勤教員総数 :	605人

AIMS利用状況の分析とその目的



学生の主体的学習

授業設計における機能別の
効果的な利用方法

学習効果の向上
教育負担の軽減

投資効果の把握

半期ごとの利用ログ分析

半期ごとの学生・教員向けアンケート調査

学生の声

- ▶ 予習・復習などの自宅学習に有効
- ▶ 効果的に活用してくれる先生が少ない

学生と教員の意識の差？

教員の声

- ▶ 使いにくい・わかりにくい
- ▶ 効果を実感できない

AIMS利用アンケート

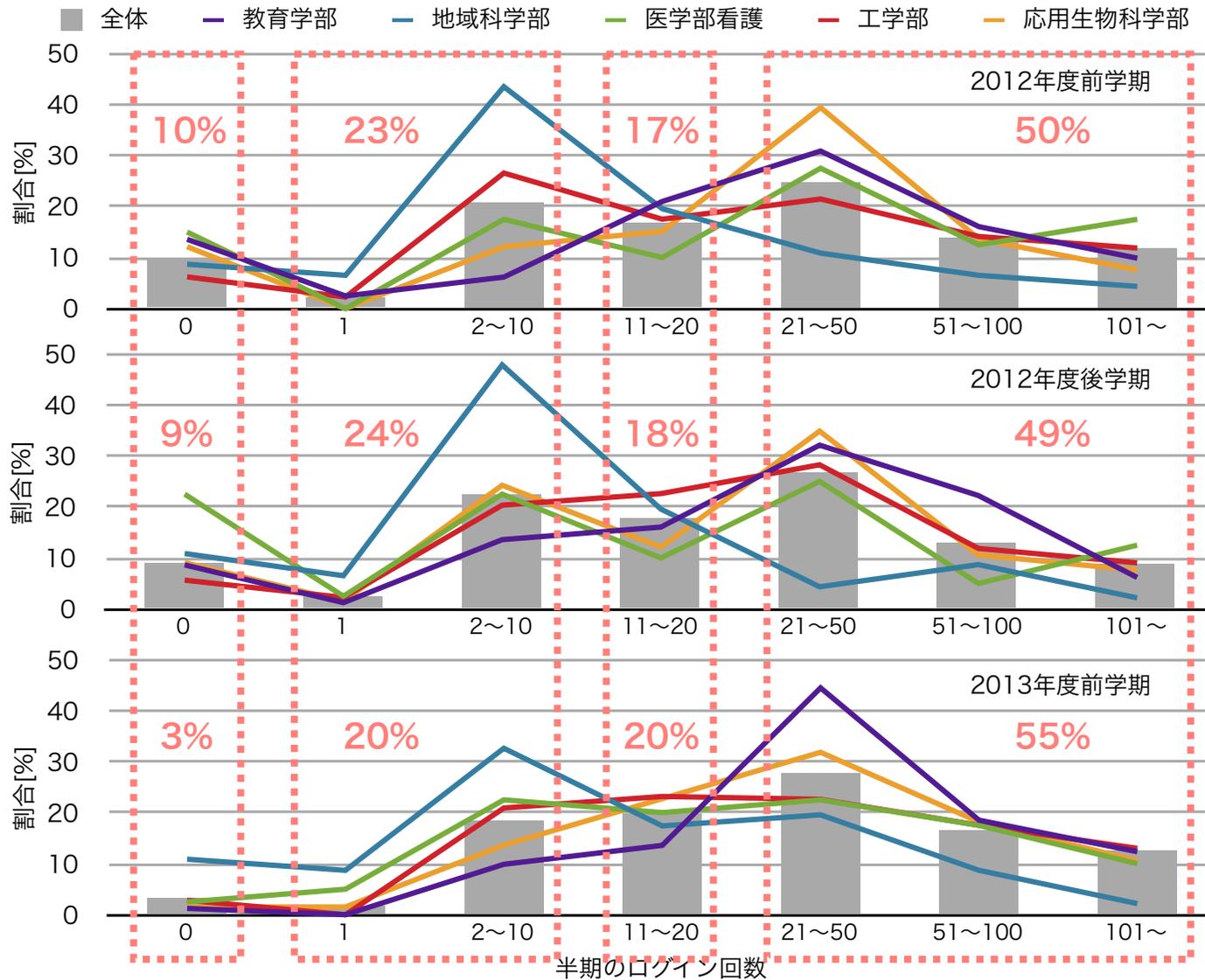
主な設問内容 (2013年前期の例)

設問種別	学生向け設問	教員向け設問
回答者 属性	Q1： 所属する学部・研究科を教えてください。 Q2： 学年を教えてください。	Q1： 主に授業を担当する学部を教えてください。 Q2： 年齢を教えてください。
利用状況	Q3： AIMSを利用した受講科目数を教えてください。 Q10： どのくらいの頻度でAIMSにアクセスしますか。 Q11： AIMSにアクセスする時間は主にいつですか。	Q3： AIMSを利用した実施科目数を教えてください。 Q7： どのくらいの頻度でAIMSにアクセスしますか。 Q8： AIMSにアクセスする時間は主にいつですか。
利用効果	Q4： 受講した科目の中でAIMSを効果的に活用していた授業はありましたか。 Q5： Q4で「効果的に活用していた科目があった」を選択した場合、その担当教員名を教えてください。 Q6： Q4で「効果的に活用していた科目があった」を選択した場合、その科目名を教えてください。 Q7： Q4で「効果的に活用していた科目があった」を選択した場合、AIMSのどんな機能が有効でしたか。 Q8： 授業でAIMSは役立ちましたか。 Q9： AIMSは学習面でどのように役立ちましたか。 Q14： AIMSの機能の中で役立ったものを以下から選んでください。	Q4： 授業でAIMSは役立ちましたか。 Q5： AIMSは学習指導にどのように役立ちましたか。 Q11： AIMSの機能の中で学習指導に役立ったものを以下から選んでください。

分析対象データと分析内容の概要

分析番号	分析対象	データ	対象期間
分析1	学期ごとの教員のAIMSログイン回数	AIMSログデータ	2012年度前期～2013年度前期 (3学期分)
分析2	学習・授業においてAIMSが役立ったか (AIMSの満足度)	利用者アンケート の回答	2011年度後期～2013年度前期 (4学期分)
分析3	AIMSが効果的と感じた事項		
分析4	役立ったと感じたAIMSの機能		

分析1：学期ごとの教員のログイン回数



教育学部：C→D

地域科学部：B→C・D

医学部看護：B→C→D

工学部：B→C

応用生物科学部：B→C

全く
利用せず
(1割)

A

成績提出などの
限定的な目的で
利用 (2割)

B

週1回程度の
頻度で利用
(2割)

C

日常的に利用
(5割)

D

成績提出の強制化や
ヘルプデスク認知度向上など
によって利用頻度が漸増

分析2：学習・授業におけるAIMSの満足度

肯定的回答

否定的回答

大いに役立った

比較的役立った

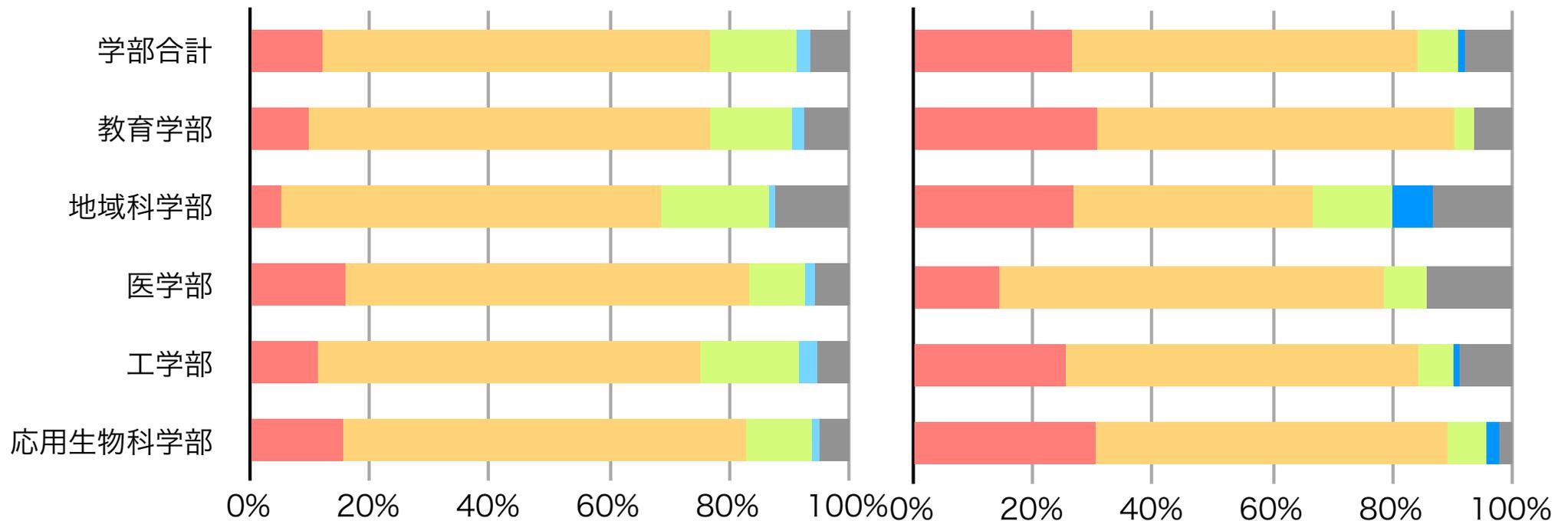
役立たなかった

全く役立たなかった

利用しなかった

学生

教員

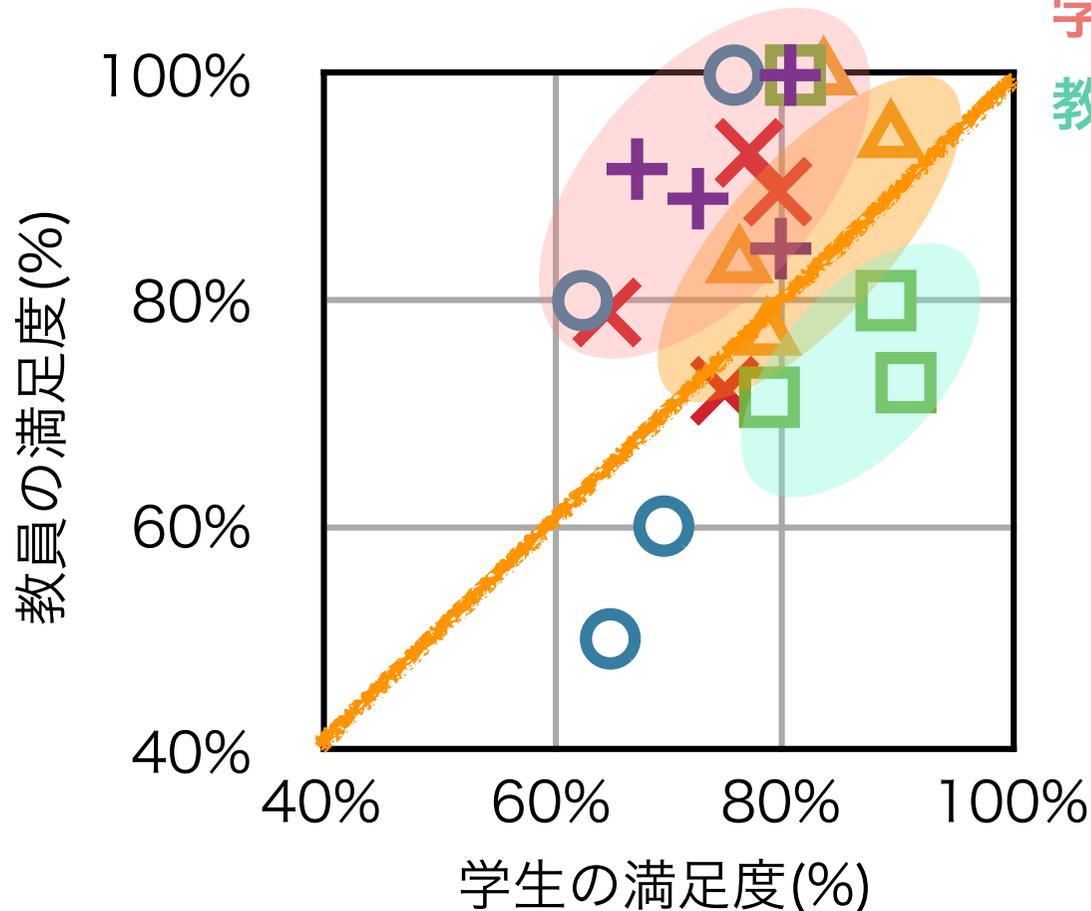


学生・教員ともに、8割程度の肯定的回答→AIMSが役立っているとの認識

地域科学部では、他学部比べて、学生・教員ともに否定的回答が多い

学生と教員の意識には、学部による差が存在する

分析2：学習・授業におけるAIMSの満足度



学生・教員の満足度が同等
 学生よりも教員の満足度が高い
 教員よりも学生の満足度が高い

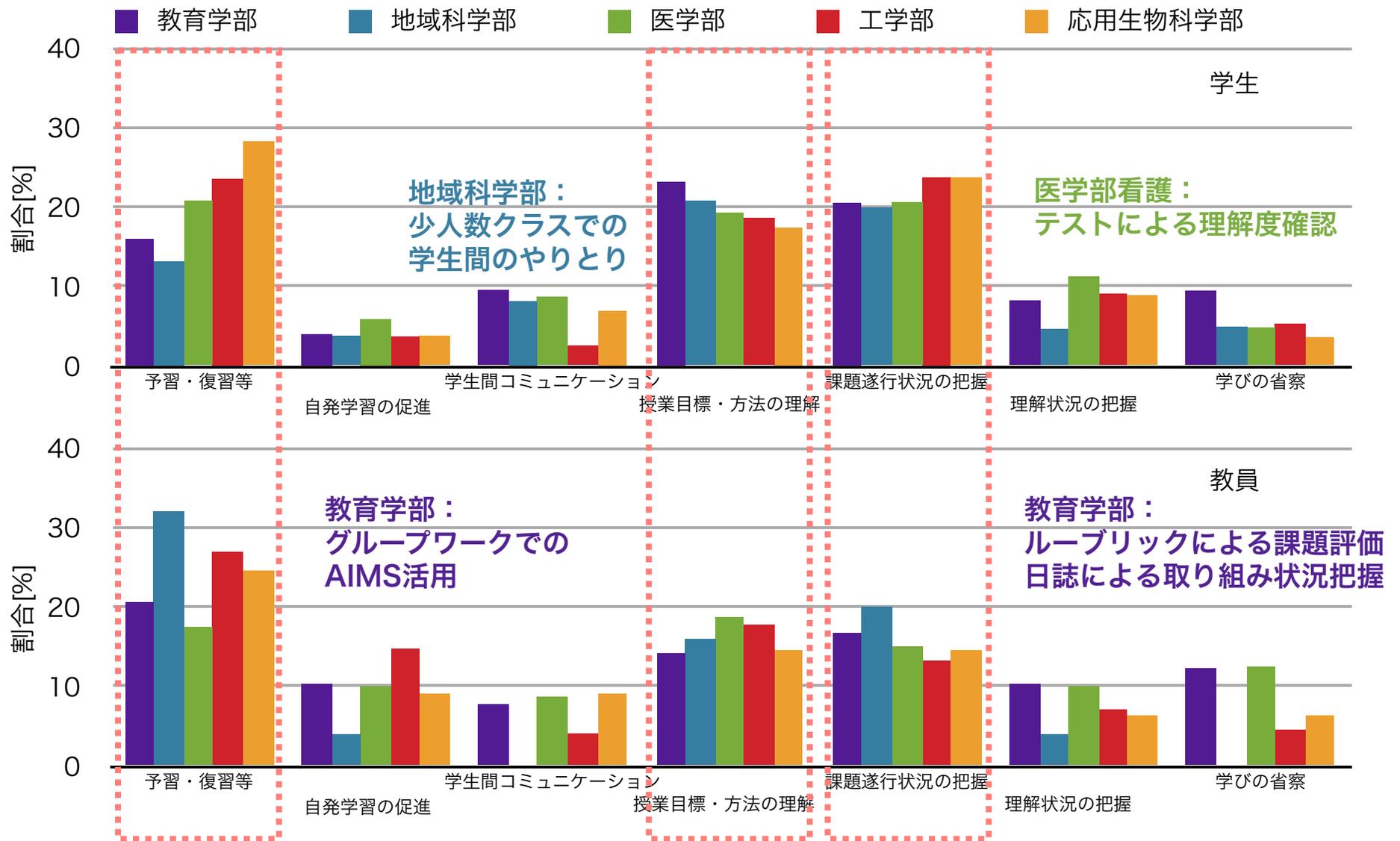
- + 教育学部
- 地域科学部
- 医学部
- × 工学部
- △ 応用生物科学部

応用生物科学部では、教員・学生ともに満足度が高い

教育学部・工学部では、教員が自己満足？

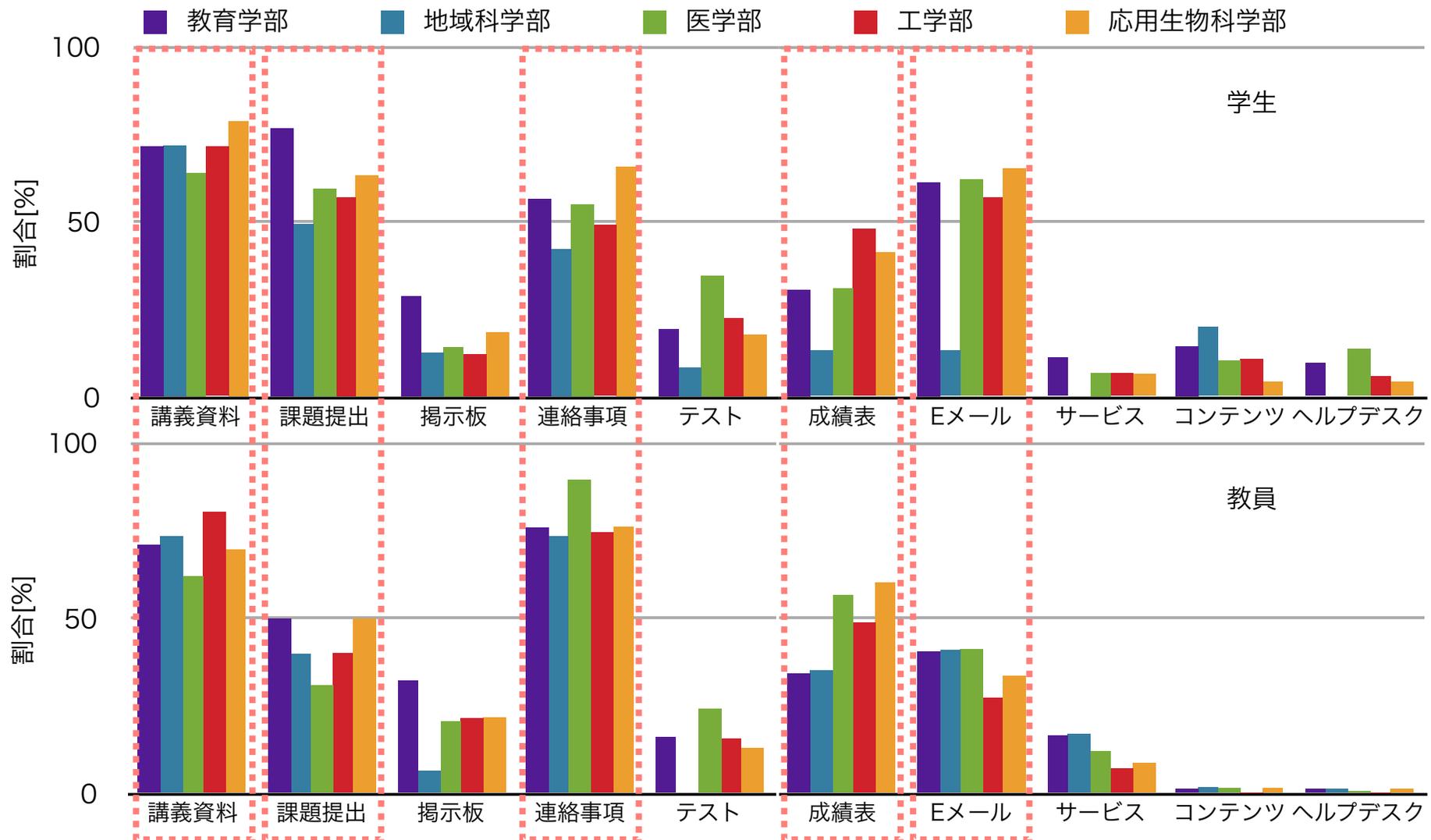
医学部看護では、教員がAIMS活用に苦勞している？

分析3：AIMSが効果的と感じた事項



効果を感じる割合が高い事項

分析4：役立ったと感じたAIMSの機能



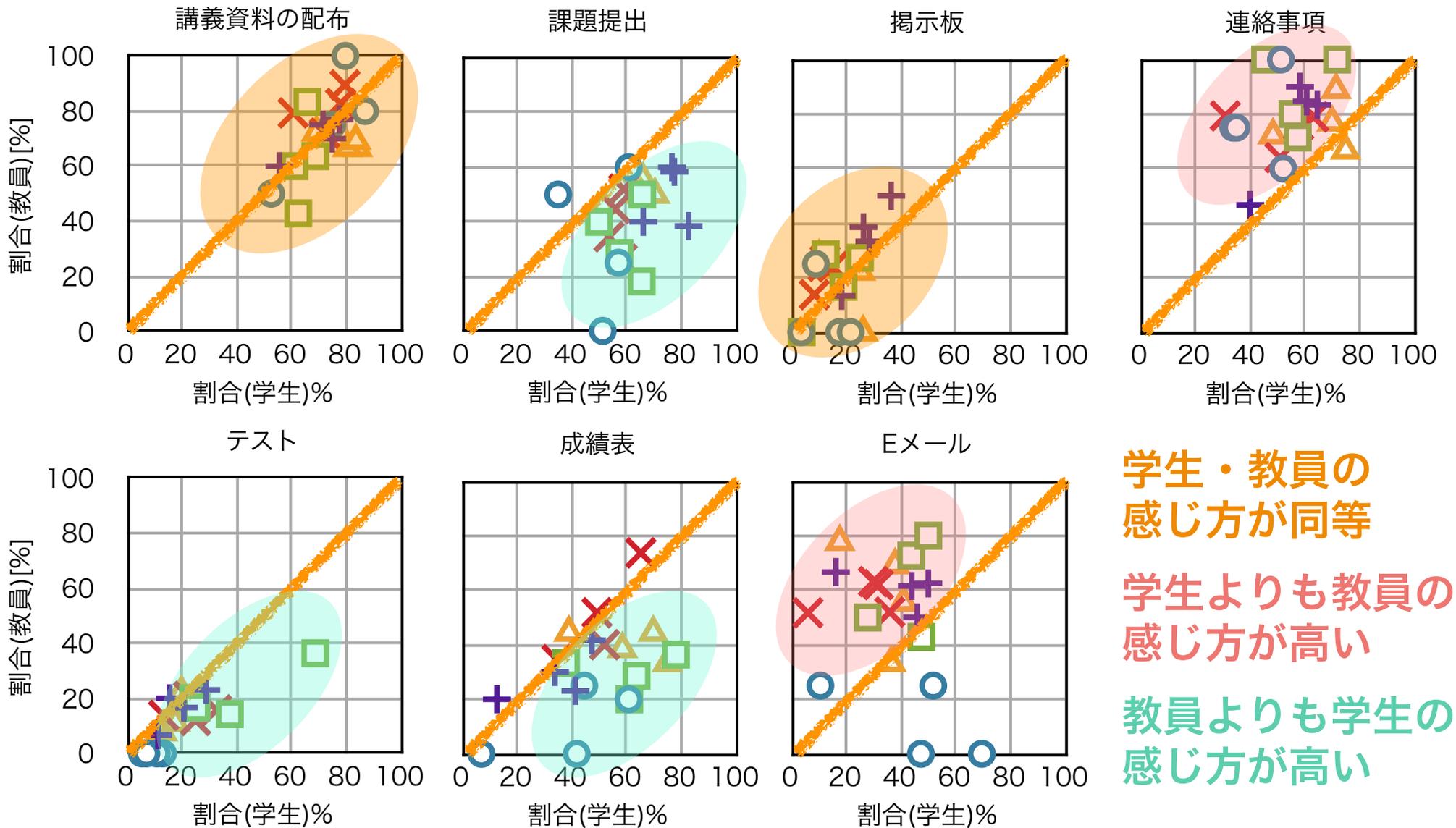
有用と感じる割合が
高い機能

教育学部：
グループワークでの
掲示板活用

医学部看護：
テストによる理解度確認

分析4：役立ったと感じたAIMSの機能

+ 教育学部 ○ 地域科学部 □ 医学部 × 工学部 △ 応用生物科学部



学生・教員の
感じ方が同等

学生よりも教員の
感じ方が高い

教員よりも学生の
感じ方が高い

課題提出・採点状況の確認に有用と考えている学生が多い (全ての学部)

張り紙などの掲示物でのアナウンスの手間が省けるため、
学生への連絡手段として有用と考える教員が多い (全ての学部)

AIMS-Gifu利用分析レポート ～授業改善への取り組みに向けて～

岐阜大学教育推進・学生支援機構 学修支援部門
AIMS-Gifu運用ワーキンググループ

目次

1. レポートの背景と目的	2
1.1 AIMS-Gifuの導入目的と利用率	2
1.2 AIMS-Gifuに対する教員と学生の認識の相違	2
1.3 AIMS-Gifu利用分析レポートの目的	2
2. 利用状況の総括的分析と考察	3
2.1 分析対象データの概要	3
2.2 分析結果	3
3. 利用状況の学部別分析と考察	8
3.1 教育学部	8
3.2 地域科学部	10
3.3 医学部(主に看護学科)	12
3.4 工学部	14
3.5 応用生物科学部	17
4. 授業改善への取り組みに向けた方向性	19

AIMS活用による学修効果向上策

学生と教員との意識の差およびその原因を分析し周知する
(AIMS-Gifu利用分析レポート)

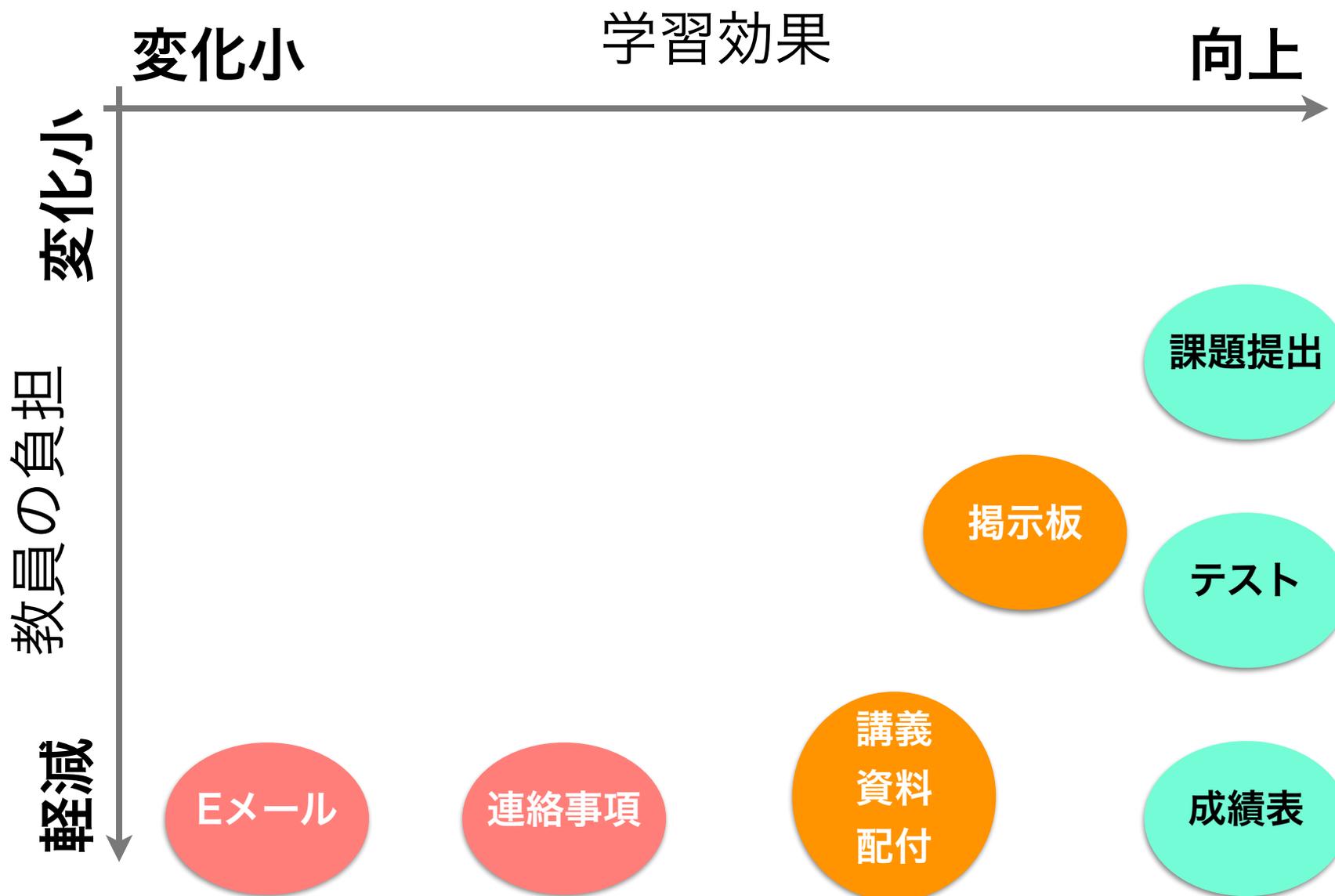
効果的にAIMSを活用している教員の工夫を共有する
(AIMS-Gifu活用事例FD意見交換会・活用事例集)

授業設計の中でのAIMS機能
活用例をモデル化する
(AIMS-Gifu活用事例モデル)

AIMS機能活用効果を
定量化する
(AIMS-Gifu活用効果分析)

全学・学部別・科目別の学習効果に関する
費用対効果の評価

AIMS機能ごとの学修効果向上と教員負担軽減



AIMS機能を活用した授業の設計方針

学生

AIMS機能

教員

予習

講義資料配付

連絡事項
Eメール

教材提示

授業

講義・演習

掲示板

テスト
成績表

テスト

復習

課題提出

課題